平成 26 年厚生労働省委託 若年者地域連携事業　”働く”を”学ぶ”人財育成アカデミー

新入社員から入社５年目程度社員対象研修

参加無料

特定非営利活動法人 EHC 雇用人材協会

熱意

を持ち メンタルが強く「仕事のデキる社員」に!

若年者の早期離職は積年の社会問題であり、採用・育成にかけた費用がムダになる事や、中核社員の育成につながらず、経営に直結する、中小企業の大きな課題となっています。若年者の離職理由の多くは、「仕事上のストレスが大きい」「労働時間が長い」「仕事がきつい」「仕事が面白くない」と、仕事に関するものです。「会社の将来性・安定性に期待が持てない」「昇進・キャリアに将来性がない」といった将来への不安も持ち合わせています。ストレス耐性にも課題があり、メンタル不全や、責任ある仕事・立場を避ける傾向にあります。茨城県内企業へのヒアリング調査では、「指示待ちが多い」「忍耐力不足」「コミュニケーション能力の低下」などが若手社会人の課題として挙げられています、同期や年齢の近い相談相手がおらず、若手は一人で悩みを抱えがちになっているという声もあります。このことから、若年者がストレス耐性や、成果の出る仕事術を身に付けるだけでなく、異なる立場や世代の人間関係づくりができるよう、一人ひとりが自立した社会人になることを目指し、若手社会人向けの定着支援セミナーを実施いたします。

人財育成アカデミー セミナー講師

第1回

社会人として大切なことは
みんなディズニーランドで教わった

香取感動マネジメント
代表取締役

香取 貴信 氏

1971 年東京生まれ。「誰にでも出来る当たり前のことを、誰にも負けないくらい徹底的に行う」をモットーに、感動を呼ぶサービスを生み続ける。ディズニーランドで培った顧客満足追求の精神を基に、従業員の使命感を鼓舞する独自のマネジメント法を確立。マニュアルの接客を凌ぐ感動のサービスに各業界が注目する。東京ディズニーランドでは、「運営部運営課エレクトリカルパレードゲストコントロール」シンデレラ城ミステリーツアー / ジャングルクルーズ / グランドサーキットレースウェイ / イッツアスモールワールド等、主にアトラクションを担当。

第２回・第４回

成果の出る習慣と仕事術
主体的な関わり方と多様性の構築

ITO Fuminori
Consulting 代表

伊藤 史紀 氏

ベンチャー企業で、生産管理、営業、人事など、多様な職種でマネージャーを経験。新規立ち上げ案件、建て直し案件に多く携わる中で、企業・事業の「永続性」に注目し老舗の研究を始める。その後、旅館・リゾートホテルの運営受託を行っている企業へ転職。サービススタッフから支配人となり、顧客満足度向上、業務効率改善などのプロジェクトに携わる。2010 年に独立。時代が変化しても変わらない普遍的なもの＝不易と、時代の変化に合わせて変えてゆくもの＝流行をコンセプトに活動。研修講師として、主にリーダーシップやコミュニケーションをテーマとした研修を実施。

第3回

困難を乗りこえるメンタルタフネスと
セルフケア

株式会社
ヒューマン・ブレンディ

田寺 尚子 氏

産業カウンセラー・PHP 認定コーチ。経営士。「組織力・人間力を高め、プロとしてのスキルを生かすため、それを下支えする基本スキル」を大事にしている。2014 年 9 月まで FM 局のパーソナリティを務め、ハウスメーカーのリポーター、婚礼司会、式典司会、などもこなす。婚礼司会は過去 1000 組以上。秘書経験やブライダル、式典司会から学んだサービスやプロデュースを生かし講師としても活躍中。新入社員研修、自己分析研修、メンタルヘルスマネジメント研修、部下育成タイプ別コーチング、ロールプレイング研修「心の伝わる研修」を心がけている。茨城空港や JR 水戸、ララガーデンなどでの研修実績もある。

全４回構成 学んだこと 繰り返す 身につく 実践➡振り返り➡実践

セミナーは全４回構成。第１回目は、仕事と学習に対する意欲を高めるための研修会を実施いたします。第２回以降は、テーマごとに研修を実施。
間を１ヶ月開けることで、学んだことに対する取り組みやその成果、改善内容を振り返り、次の行動につなげます。

第１回 研修 2014.11.06 木 13:30〜16:30

会場：茨城県三の丸庁舎 水戸生涯学習センター 大講座室（茨城県水戸市）

セミナー講師 香取貴信氏（有限会社香取感動マネジメント 代表取締役）

社会人として大切なことはみんなディズニーランドで教わった

ディズニーランドや全国のアミューズメント施設の運営・管理等での豊富な経験を元に、お客様の期待に応える仕事の仕方と、自ら仕事の意義を見つけ出すための考え方を学びます。仕事をつまらなくするのは、「慣れ」や「飽き」、成果が見えないことです。工夫次第で仕事を面白くし、成果を出すことができます。「働く意味づけは自分でする」「人の役に立ち、人に笑顔になってもらう仕事をする」「誰にも負けないくらい、一つのことを極める」ことで、仕事のやりがいを創り出していきます。与えられた環境の中で期待以上の成果を出すことで、周囲から認められ、仕事を前向きにとらえることができるようになります。仕事への姿勢を見直し、働く喜びに気づき、仕事のモチベートの仕方を身に付けます。

効 果

- 自分のための仕事ではなく、お客様のための仕事へという意識が身に付く
- 仕事をつまらなくしている「慣れ」「飽き」に気づき、仕事への姿勢が変わる
- 同僚やお客様に感謝される仕事をするようになる

定員70名

第２回 研修 2014.12.18 木 9:30〜16:30

会場：茨城県開発公社 １階 1-E（茨城県水戸市）

セミナー講師 伊藤史紀氏（ITO Fuminori Consulting 代表）

成果の出る習慣と仕事術・キャリアデザイン

若手社員とは言え、仕事の進め方やコツなどをすべて研修や先輩上司から学べるわけではありません。「誰も教えてくれないから」と学びを怠っていては、仕事での成果も出なくなって行きます。自ら学んで力をつけていかなければなりません。また、仕事で成果を出すためには、チーム・組織の中での自分の役割を把握して仕事をこなすことや、仕事に優先順位をつけたり、常に改善をはかるPDCAサイクルを回すことで、効率を高め成果を出す必要があります。さらに、将来的に自分がどのような能力を身に付け、ステップアップしていくのか、目標設定・将来設計とそこまでのプロセス管理の方法を学ぶことで、会社にいなくてはならない存在を目指していきます。

プログラム内容

- PDCAサイクルとは何か？
- 目的、目標、手段の関係と問題の定義
- PDCAサイクル演習
- 段取り力を高める。インバスケット演習
- 重要度と緊急度、優先順位づけ

効 果

- 自分の学習スタイルを把握する
- ロジカルPDCAのサイクルを理解し、仕事を改善して取り組むようになる
- 複数の仕事の優先順位のつけ方とスケジューリング（タスク管理）ができるようになる
- PDCAを応用し、目標設定、プロセス管理、キャリアデザインができる

定員40名

第３回 研修 2015.01.22 木 9:30〜16:30

会場：茨城県開発公社 １階 1-E（茨城県水戸市）

セミナー講師 田寺尚子氏（株式会社ヒューマン・ブレンディ）

困難を乗り越えるメンタルタフネスとセルフケア

困難や想定外のことが目の前に起こった時に、我慢するのではなく、どのように向き合えば、落ち込むことなく、前に進むことができるのか、心のメカニズムを理解していきます。問題が大きくなるまで一人で抱えたり、責任やプレッシャーから逃れようとしたり、心に大きな負担がかかることは仕事の成果や効率に悪影響を及ぼします。ストレス状態を作らないためにも、自分の“クセ（＝悪い習慣）”を把握し、ストレスコントロールやセルフコーチを身に付けることで、仕事の成果を高める力をつけていきます。また、ストレスの状態把握から、課題設定、行動計画を立てることで、悪いストレス状態から抜け出していきます。

プログラム内容

- ストレスとは？
- 自己理解からの問題解決
- セルフコントロールとセルフコーチング
- 思い込みからの解放
- ストレス耐性UP ！達成型行動計画

効 果

- メンタルヘルスの正しい知識を理解できる
- メンタル不全を予防するセルフケアとストレスコントロールの方法が身につく
- メンタルタフネスになる様々な手法（セルフコーチなど）を修得する
- ストレスの状態を確認し課題を設定し、行動計画を立てる

定員40名

第４回 研修 2015.02.19 木 9:30〜16:30

会場：（未定）※決定次第、通知やホームページ等でお知らせいたします。

セミナー講師 伊藤史紀氏（ITO Fuminori Consulting 代表）

主体的な関わり方と多様性を受け入れる人間関係構築術

仕事を進めていく上では、指示を待つ（仰ぐ）だけではなく、自分が何をすべきか主体的に考え行動することが求められていきます。また、仕事は、一人ではなく、先輩後輩・取引先・顧客など周囲の人たちと関わり合いながら進めていきます。仕事を進める上で重要になるのは主体的に関わることです。また、関わる人たちは、立場や経験・職位が違えば価値観も違ってきます。そういった多様な価値観の中で、違いを受け入れながら人間関係を構築することは、仕事を進めやすくする重要なスキルです。ここでは、主体的に関わることと、多様性を受け入れた人間関係の構築を学び、周囲と調和しながら仕事を進める術を修得します。

プログラム内容

- 人の持つ多様性
- 多様性とコミュニケーション
- 主体性とは何か？　自主性と主体性
- 主体性を発揮する
- リーダーシップとマネジメントの違い

効 果

- 「自主性」と「主体性」の違いを理解し、指示を待たずに自ら行動できる
- 方向性を定め、自らの意思で主体的に行動するセルフリーダーシップが身に付く
- 多様な価値観があること（多様性）を理解し、受け入れることができる
- 仕事を進める上で、必要とされるコミュニケーションが身に付く

定員40名

お申し込み・お問い合わせ

お名前、会社名、お電話番号、FAX番号、年齢、役職、勤続年数、参加希望回・会場を記載の上、FAXまたはメールにてお申込みください。

FAX ／ 029-300-1739　Mail ／ academy@koyou-jinzai.org　定員になり次第締め切り。

複数人数でのお申し込みの場合は、お手数ですが、本紙を複製（コピー）してご使用ください。お申し込みいただいた方には、後日、参加証をFAXもしくはメールにてお送りさせていただきます。

お申込みフォーム（※は必須事項）

※お名前	フリガナ	※会社名	フリガナ				
※FAX番号		メールアドレス					
※お電話番号		年齢	歳	役職		勤続年数	年

参加希望セミナー回（参加をご希望の箇所に○をつけてください）

第 1 回（11/6）	第 2 回（12/18）	第 3 回（1/22）	第 4 回（2/19）

お申し込み・お問い合わせは NPO法人雇用人材協会まで

特定非営利活動法人 EHC 雇用人材協会

〒310-0011茨城県水戸市三の丸1-7-41
Tel：029-300-1738
Mail：academy@koyou-jinzai.org